



湖道を駆ける

ANA TOYAKO MARATHON 2025



ANA洞爺湖マラソン2025が5月18日、洞爺湖畔で行われました。昨年、50回目の開催という大きな節目を迎えた洞爺湖マラソン。今大会は全国各地から総勢約4700人のランナーが熱いレースを繰り広げ、新たな歴史を刻みました。

約3500人が出場したフルマラソンは午前9時にスタート。号砲と同時に温泉街から駆け出し、沿道で見守る人々からの声援を受けながら湖畔を一周しました。

曇り空の下でのレースとなりましたが各選手は快調にゴールを目指し、男子1位の神直之選手（千歳市・北星病院）は13年ぶりの大会新記録となる2時間20分39秒でフィニッシュ。女子では、嶋田早紀選手（帯広厚生病院）が2時間44分34秒の好記録で栄冠を飾りました。

各給水所では、ボランティアスタッフが選手をサポート。とうや水の駅では財田米のおにぎりや赤しそのジュースなどが振舞われ、足を止めて東の間の休憩を楽しむ姿も見られました。

5km、10kmマラソンには合わせて約1200人が出場。親子や仮装したランナーなども現れ、次の節目に向けて走り始めたばかりの洞爺湖マラソンを盛り上げてくれました。



走り抜いた42.195km

フルマラソン 優勝選手のコメント

◀男子1位 神直之選手（大会新記録）

「洞爺湖マラソンは初出場でしたが優勝が目標でした。走りやすく爽快なコースでしたね。学生時代はトラック競技の選手でマラソンは社会人になってから。北海道マラソンなど実業団選手が集まる大会にも出ますので良い結果を目指したいです」

▶女子1位 嶋田早紀選手

「東京出身で洞爺湖には来るのも初めてでした。北海道では十勝のフルマラソンなどにも出ましたが、洞爺湖は景色が開けて湖が見えたりして雰囲気が変わって面白かったです。今回のタイムは私のセカンドベスト。楽しいレースになりました」

